



品川総合福祉センター

一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふく ニュース

迎春

No.166

2026/1/1 発行

品川総合
福祉センター
公式サイト



「プチレーブ ピクニック」オープン



▲令和7年12月8日(月)、プチレーブカフェ「ピクニック」オープン!
(7面に関連記事)

- 2P 令和8年 新年のご挨拶 理事長・事務局長
- 3P 事務局次長・各統括施設長
- 4P タスクフォースの取り組み紹介
- 5P 職員交換研修 / 私たちの風景

- 6P 地域とのつながり しなふく紅葉フェスタ
- 7P プチレーブ「ピクニック」オープン | 豆知識
- 8P しなふくの窓 | お知らせ

令和八年 新年のご挨拶



品川総合福祉
センター 総務課
立木 征泰

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

福祉を取り巻く環境は、依然として諸物価の高騰、人件費の高騰など経済の状況や福祉を担う人材不足もあり、法人経営に大きな困難を強いております。こうした困難な状況が続く中、品川総合福祉センターでは、組織・事業の見直しや改革による法人の経営基盤強化、事業の効率化、新たな事業展開のため、専門コンサルタントの支援を受け、法人の各現場職員で構成するタスクフォースを立ち上げました。同時に第二期中期経営計画の実施結果を評価するとともに、タスクフォースの検討報告も反映し、事業をさらに一歩進めるための第三期中期経営計画の策定に向けて準備を進めております。

法人理念の「地域とともに」のもと、利用者やご家族の皆さんに喜んでいただける良質な福祉サービスの提供、職員の確保・育成、経営基盤の確立、また新たな地域課題の解決に向け、全力で取り組んでまいります。引き続き、皆様方のご支援・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

事務局長
立木 征泰



謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様のおかげで笑顔あふれる新年を迎えたことに感謝申し上げます。

昨年「巳年」は、未来を見据え、より良いサービス提供体制を築くための法人改革に着手いたしました。巳が成長とともに脱皮するように、当法人も新たなステージへ向けて歩みを進めております。今年は「午年」。この一年をさらなる成長と飛躍の年とするべく、職員一丸となって邁進いたします。地域とともに歩む法人として、地域社会との繋がりを意識し、心から喜んでいただける最善のサービス提供に努めてまいります。皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

事務局次長
奥田 美紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます。2026年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は多くの方々のご支援とご協力を賜り、当法人の活動をさらに充実させることができました。本年も引き続き、利用者一人ひとりの笑顔を大切にし、地域の皆様と共に歩み、幸せを提供できる事業展開を行ってまいります。

また、本年は午年ということもあり、駿馬のごとく力強く前進する一年となるよう、職員一同、心を一つにして取り組んでいく所存です。どうぞ本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとって本年が良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

事務局次長・人事企画課長事務取扱
樺島 亮

明けましておめでとうございます。2026年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年の11月には、東京2025デフリンピックが開催されました。競技に参加している選手の一生懸命な姿にはとても感動したとともに、あらためて「自分も頑張ろう！」と強く思いました。

年の始まりは、決意のタイミングです。皆様も年の初めに様々な決意をされることかと思います。法人としましても、今年もしっかりと福祉サービスを提供していくように頑張ってまいりたいと思います。

皆様におかれましても本年が良い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

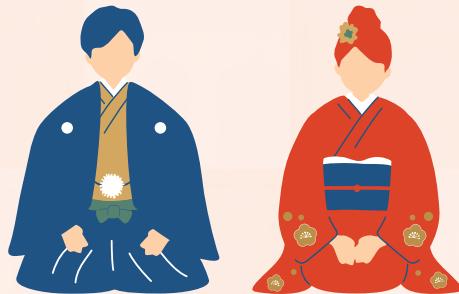
障害群 統括施設長

かもめ園 荒川 敦明

新年あけましておめでとうございます。

平素より法人の運営に深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍前のサービスに近づけ、利用者の皆様がより安心して生活できる環境整備に努めてまいりました。本年も、職員一同が専門性を高め、支援の質向上に取り組むとともに、誰もが尊厳をもって暮らせる社会の実現に向けて歩みを進めてまいります。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



高齢者群 統括施設長

品川区立中延在宅サービスセンター
品川区中延在宅介護支援センター
小山 正子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は温かなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年も、一人ひとりの“らしさ”がそっと花開くように、寄り添い、つながり、支え合う福祉を紡いでまいります。変わりゆく社会の中でも、ひとつの灯りとなれるよう、日々の営みを丁寧に重ねてまいります。

また、地域の声に耳を澄まし、新しいことにも取り組みたいと思います。本年も皆さまとともに、小さな幸せを見つけ合う時間を大切にしてまいります。

笑顔あふれる、幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



障害群 統括施設長

品川区立心身障害者福祉会館

品川区旗の台障害児者相談支援センター

品川区障害者地域活動支援センター 逢吉澤 利恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年一年を振り返ると、目まぐるしく時間が流れ、目の前の事を精一杯取り組むことの繰り返しだったように思います。

自分でコントロールできない流れの中で、これまで法人として積み重ねてきたことを土台とし、「継続は力なり」を信じて日々の小さな取り組みを大切にしています。そして新しい事に目を向ける気持ちのゆとりを持って、今年一年を過ごしていきたいと思っております。本年が皆様にとって幸多き一年となることをお祈り申し上げます。



高齢者群 統括施設長

品川区立中延特別養護老人ホーム
米原 康之

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、利用者・ご家族、地域の方々、そして職員のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

本年も一人ひとりの夢や思いを大切にし、本人主体のケアをチームで考え続けながら、より良い福祉サービスの提供に努めてまいります。

一年の始まりは身が引き締まる思いとともに、これから歩みに期待がふくらみ、自然と笑みがこぼれます。

一年という時間は長くもあり短くもあり決して平坦な道ではありませんが、山あり谷ありの道のりも成長するチャンスと捉え、挑戦する勇気と笑顔を大切に歩み続けたいと思います。

本年も変わらぬご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

経営改革 タスクフォースの取り組み紹介

令和7年度より法人全体で進めている「タスクフォース活動」も、いよいよ折り返し地点を迎えました。これは、各施設・各部門が抱える課題を現場から解決していくための取り組みであり、業務の効率化や収支改善、職員の定着などを目的として立ち上げられた活動です。

現在、各事業所で目標達成のため、職員が主体となって改善に取り組んでいます。「サービスの向上」「新規顧客獲得や定着に向けての取り組み」「職場環境と働き方の検討と見直し」「ムダムリムラをなくし、効率的に働くこと」「会議時間の短縮や記録の省略化」など、それぞれが業務改善のため、現場の実情に合わせて日々改善に努めています。

これらの活動は、単なる会議や報告に留まりません。各事業所やタスクフォースメンバーが実際にデータを集め検証し、結果を法人全体で共有します。数値化することで課題を明確にし、具体的な改善の取り組みを進めています。例えば、稼働率が前年比



▲タスクフォース、キックオフ！



▲「全管理職」参加の会議



▲皆でプロジェクトの意見を出しあっています

3 %以上向上したり、人員の適正配置により、収支改善につながったり、ICTの活用や動線の工夫など、職員の声から生まれた改善策が次々に形となり、現場の負担軽減にも繋がった施設もあります。

タスクフォースの活動について、業務改善は一部の管理者の仕事ではなく、現場一人ひとりの気づきから始まります。小さな提案が組織全体の成果に結びつく。そこに、この取り組みの大きな意味があります。

今後も、各チームの成果を横展開し、全職員が考え方行動し、それぞれの能力を発揮できる法人の土壌を育てていければと思っております。現場から生まれるアイデアこそ、法人の未来を支える原動力です。法人を永続的に運営することは地域の方々の幸せにつながります。利用者の幸福を目指すことはもちろんのことですが、職員のライフワークバランスを考え、職員自身の幸福の実現についても進めてまいります。



▲「経営改革タスクフォースNEWS」定期的に職員に配信されています

職員の 交換研修

大井在宅サービスセンターと八潮在宅サービスセンター

今年度より、法人内における新たな取り組みとして「職員交換研修」を始めることとなりました。この研修は、法人内の事業所において欠員が生じた場合の応援体制の構築や、他事業所の業務を学ぶことでの職員のスキルアップを目的としています。

第1回目の研修は、高齢者のデイサービス介護職員間での交換研修でした。八潮在宅サービスセンターと大井在宅サービスセンターの職員がお互いの施設に出向き、送迎業務を体験しました。業務の流れは概ね共通していますが、細かな手順や地域ごとの特性等、それぞれに異なる部分もあり、研修を終えた両職員からは「普段の業務と



▲七夕飾りの前でご利用者と…！

違い、新鮮な気持ちだった。」「視野が広がった。」といった声が聞かれました。

今年度後半では、八潮南特別養護老人ホームとかえで荘のリハビリ専門職員の交換研修を実施する予定です。



＼日常のひとまをご紹介致します／

品川区立八潮北保育園

アイス屋さんごっこ



3歳児の子ども達に今一番人気の遊びはアイス屋さんごっこです。アイスを作るところから始め、出来上がるとお店に並べ、店員さんとお客様役になってごっこ遊びが始まります。「アイスはいかがですか。」の呼びかけにお客さんが集まり「くださいな。」「チョコレートアイスはありますか。」との声が聞こえ、それを聞いたお友達も集まって、アイス屋さんは大繁盛です。「100円になります。」「はいどうぞ。」等、お金のやり取りが実際のお店のようで、大人のやりとりをよく見ているなあと驚き、感心します。友達と一緒に行うごっこ遊びが、周りの子ども達の興味関心へと繋がり、「もっと、もっと」と関わりを広げていこうとする姿がとても微笑ましく、そんな日常の遊びから子ども達の世界が豊かになっていくように感じます。



「アイス、はいどうぞ。」
品川区立八潮北保育園

地域との つながり



▲会場に和太鼓の音が響き渡りました



▲八潮学園吹奏楽部の皆さん



▲着こなしも完璧です！



▲模擬店では、完売続出！



▲ハロウィンでつながろう八潮



▲森のひかり 手話舞踊



▲森のひかり リズム舞踊

昨年10月26日（日）、法人本部6階および駐車場にて「しなふく紅葉フェスタ」を開催しました。

今回は、雨の影響で一部規模を縮小、室内でのステージ開催となりましたが、八潮を拠点に活動している4団体にステージを盛り上げていただきました。ステージ最初の演目は、八潮学園吹奏楽部の皆様による演奏。ポピュラー曲の演奏に、観客の方々も手拍子をして盛り上がっていました。続いて、八潮太鼓之会の子どもの部の皆様に和太鼓の力強い音を奏でていただき、午後の部では、利用者・地域の方の「森のひかり」によるリズム舞踊・手話舞踊が披露されました。元気な踊りや優雅な踊りなど曲の雰囲気に合わせた踊りに皆様魅入っていました。

ステージイベントの最後を飾ったのは、八潮ハーモニーさんと協働開催の着物リメイクファッションショーでした。利用者や職員、地域の方々がリメイクされた着物を着用し、赤い絨毯のランウェイを歩きました。年齢層は9歳から104歳、出身地は日本だけでなく、アメリカ、ベルギーなど、総勢約60名がモデルとして参加されました。障害の有無や年齢、国籍に関係なく楽しむことができたファッションショーでした。

駐車場や1階ロビーでは、各種模擬店・パン工房プチレーブの店舗販売、スタンプラリーやウクレレ体験コーナー等を実施し、子どもから大人まで楽しんでいただきました。

地域とのつながりが一層深まった一日となりました。

プチレーブ 「ピクニック」オープン

パン工房プチレーブカフェ「ピクニック」は、地域の皆さまの憩いの場所として昨年12月8日（月）新たにオープンいたしました。毎朝、丁寧に焼き上げる香ばしいパンと、豆からこだわった淹れたてコーヒーで、日常にそっと寄り添う心温まる時間をお届けします。

スタッフ一同、この新しい挑戦に大きな期待と喜びを抱きながら、お客様一人ひとりが気持ちの良いひとときを過ごしていただける時間をご用意します。店名に込めた“ピクニック”のようなワクワク感を大切に、気軽に立ち寄れる明るい雰囲気づくりに努めてまいります。

地域イベントへの参加や新メニューの開発にも積極的に取り組み、皆さんに長く愛されるお店を目指します。どうぞお気軽にお越しください。



◀ 12月8日オープニング
セレモニーを行いました



◀ 皆様のご来店お待ちしております！



◀ セレモニー終了後は参
加者に飲物がふるまわ

豆矢口譲

車椅子の歴史

私たちが日々使用している「車椅子」についての歴史をご紹介致します。

車椅子の起源は古く、正確な「発明者」は特定されていませんが、記録に残る最初の車椅子は16世紀、スペインの国王フィリップ2世のために作られたものとされています。彼は痛風のため歩行が困難になり、椅子に車輪を取り付けて移動できるように工夫された特製の椅子を使用していました。これが近代的な車椅子の原型といわれています。その後、18世紀にはヨーロッパ各地で改良が進み、19世紀には鉄製のフレームや折りたたみ構造が開発されました。特に20世紀初頭、アメリカの機械技師ハーバート・エベレットとハリー・ジェニングスが1933年に世界初の折りたたみ式車椅子を共同で発明し、実用性が飛躍的に高まりました。ジェニングスは友人のエベレットが事故で歩けなくなったのをきっかけに開発したとされ、友人への思いやりから生まれた発明といえます。

この発明が、現在の車椅子の基礎を築いた重要な一歩となりました。私達もジェニングスのように「人への思いやり」を忘れず、日々のケアをしていきましょう。



しなふくの窓



このコーナーは普段は目に留まらないちょっとしたホツとするものをしなふくの「窓」を通して写真で紹介するコーナーです。



▲冬模様のベンチ！（かもめ園の利用者と職員の力作です）

寒さが一層厳しく感じる季節となりましたが、かもめ園園庭のベンチシリーズである冬バージョンをご紹介したいと思います。

日本語には雪を表す美しい言葉があります。表現として100種類以上存在するようです。例えば、筒雪（つつゆき）は竹に積もる雪を表現したもの、小米雪（こごめゆき）は米粒のようなさらさらな雪を表したものなど様々な表現があるようです。北欧のフィンランドでも雪の表現が40種類あるそうです。

人間にとっても冬は厳しい季節なため、様々な表現を活用してコミュニケーションを行い文化を醸成していったのではないでしょうか。

ヤングケアラーサポーター養成講座

ヤングケアラーの存在に気づき、つなぎ、見守るために正しい知識を学びます。

日 時：① 令和8年2月14日(土) 10:00～12:00

② 令和8年2月28日(土) 13:00～17:00

(全2回)

場 所：品川総合福祉センター（品川区八潮5-1-1）

定 員：品川区在住・在勤

全回出席できる方20名（先着）

2回受講者には修了証をお渡しします

参加費：無料



講 師：

① 町 亞聖氏（フリーランサー・元ヤングケアラー）

② 蓮沼 友子氏（フォーカシングトレーナー）

③ 小林 鮎奈氏（品川区子ども家庭支援センター

ヤングケアラーコーディネーター）

申込み：

2月5日(木)までに、電話かホームページの申し込み
フォームでお申込み下さい

申し込みフォーム

品川総合福祉センター地域福祉課

☎ 03-3790-4839

FAX 03-5755-2345



正職員
パート・アルバイト
学生歓迎

大募集!!

まずは興味のある施設の見学をしてみませんか？

募集施設 品川区内の高齢者施設・障害者施設・保育園

募集職種 介護士・生活支援員・保育士

介護支援専門員・看護師 等

応募・問合せ先 社会福祉法人品川総合福祉センター 総務課

メールアドレス soumu@shinafuku.org

電話番号 03-3790-4729

受付時間 平日 9:00～17:00